

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		運動発達支援スタジオ笑みりい～大阪狭山				公表日	2025年4月25日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		複数の遊びを行う時は、時間で分けたり、コーンを使ってスペースを区切るなどしている。	活動スペースが一つの部屋で行われているので、鬼ごっこドッチボールなど複数の遊びを同時に行うのは難しい。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		段差部分をなくし、フラットな活動スペースになっています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		サービス終了後は消毒用のスプレーを用いて掃除を行っています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		クールダウン用の部屋を設けています。	クールダウン用の部屋は相談室とも兼用になっているので、使用する際は机とイスを片付ける必要がある。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7			定期的に面談を行い、目標設定と振り返りが行えるように努めています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		毎年自己評価のアンケートを配布し、業務改善につなげています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		職員間で話しやすい環境を作っています。	定期的な面談もを行い、職員の意見を業務の改善につなげていきます。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	3		第三者による外部評価は実施していないので、今後実施していくように検討していきます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		研修等で知識を向上させる場がしっかりと設けられています。		
適切な支援の	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		・専門的なところはPTやSTに相談し支援プログラムを作成するようにしています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		日々の活動で何が課題なのか、利用時への支援方法など話し合い確認しています。	子どもの意向も反映できるように努めています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		支援計画が更新されたときは事務所内に掲示し、計画の内容が把握できるようにしています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		達成できる目標設定を行い、計画に沿った支援を行っています。	移行支援や地域支援の具体的な支援内容を充実させていきたいと考えています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		プログラムの内容更新のたびに職員で話し合っています。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		運動プログラムは2週間に一度、生活プログラムは毎週課題を変えて提供しています。		

提供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	1		子どもの状況や課題に合わせて個別活動や集団活動の支援を行っているが、支援計画には反映されていないこともあるので、支援計画の見直しを図っていききたい。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		朝礼時に前回利用児の様子を共有したうえでどう支援していくのか等も打ち合わせしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		終礼時にその日の利用児の様子や保護者からの話なども共有しています。	勤務時間が異なるため、終礼に参加できない職員への共有が少なくなってしまう。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		支援計画の内容に沿った記録やその日の様子を支援終了後記録し、次の支援に活かしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		定期的にモニタリングや面談を行い、支援計画の見直しを行っています。	6か月未満でも、必要に応じて計画の見直しを行っていきたく考えています。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	6	1	・自由時間にどのようにして遊ぶか子どもが自由に決められるようにしています。 ・普段の支援や関りの中でも子ども自身に選んでもらうような声掛けを意識しています。	・活動の主な内容は職員が決めている事が多いので、子どもたちにも決めてもらえる場を作っていきたいと思えます。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7			管理者と子どもの様子を把握している職員と共に参加できるように努めています。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		行事予定表をもらったり、学校、学童と相談し、利用児の特性を考えた送迎方法を行うようにしています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7		担当者会議や支援シートを活用し、情報共有を行っています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7			小学6年までの利用になっており、該当する利用児がいません。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7		障がい児通所支援事業等育成事業を利用するなど、スーパーバイズや助言を受ける機会を作っています。	今年度は実施できなかったため、次年度は利用していく予定です。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7		地域交流として地域のイベントに参加したりしています。	今後も交流や機会が持てるように運営していきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7		こどもむすぶ会の会議に参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		送迎時に子どもの様子をお伝えし、情報共有を行っています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	5	外部機関のペアレントトレーニング等の案内を掲示しています。	事業所内でのペアレントトレーニングや研修等は行っていないので、保護者に向けた研修等も取り入れていきたいと考えています。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		見学、体験時や契約の際に書面を用いて説明を行っています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		面談でお話を伺い、子どもや家族の意向を確認しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		連絡ノートの記載や送迎時にいただいた相談に乗りながら必要な助言や支援を行っています。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7		祝日のイベントプログラム等で保護者やきょうだいとも一緒に参加できる機会を作っています。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		苦情があった場合には早期に対応できるように迅速に対応できるように体制を整えています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7		HPでのブログ、インスタグラム等で活動の様子を伝えています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		個人情報がかかれていた書類等については事業所内でしっかりと保管し、十分留意しています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7			地域の方がイベント等にも参加できるように検討しています。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	1		体制の周知は契約時の説明が主になっているので、対応の体制を掲示するなど周知できるように取り組んでいます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		・BCPの作成、共有しています。 ・年に2回避難訓練を行っています。最寄りの避難場所までの誘導を行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7		体験時にアセスメントを行い、子どもの状況を把握するようにしています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	3	アレルギーのあるお子さまには、ファイルの目の付くところに記入します。	アレルギーのあるお子さまには医師の指示書に基づく対応を行っています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		安全計画に基づいて、毎月備品のチェックを行っています。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		ヒヤリハットが起きたときは報告書を記入してもらい、職員で情報共有を行っています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		定期的に虐待防止の研修を行っています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	1		今のところ身体拘束を行うようなお子さまはいませんが、今後必要なお子さまの対応を検討していき、必要な場合は計画に記載して同意いただくようにしていきます。	